

地域の絆を深めるまちづくり

H25年8月22日(木)

まびいきいきプラザ

【主なご意見】

- 高齢者のふれあいサロンを立ち上げたので色々知りたい。出前講座も活用しているがもっと楽しく聞くことができるものがあればと思う。
- 小中学校で成功体験できなかった子どもを地域に引き込んでいけるよう教育をしている。地域の方と一緒に活動し、声かけをしていただくことで自信を持って地域に馴染んでいっている。
- 老人保健施設にも高校生がボランティアに来てくれる。これからも活動の中でお互いに協力したら良いのでは？
- 箭田地区では小学校の子どもを通しボランティア募集の配布をした。若い人に参加してもらい、まちづくりの後継者を育成している。
- 子育て世代の若い方の意見を聞けるよう、スケジュールを加味し、こういう会を続けていただきたい。
- 岡田地区は幼稚園・小・中学校の先生方と懇談会を持ち、子どもたちにボランティアなど参加してもらい、年間の色々な地域活動を盛り上げていっている。
- 藪地区は子どもは宝物という考えで、子どもたちの体験学習を企画実施している。体育祭には若い方が多く参加するので、その人たちにまちづくりにも入ってもらい、若い人を積極的に取り入れている。
- 学校評議員は評価するだけでなく、学校・学区を良いものにするキーパーソンだと思う。学校と地域の連携というアイデアも出してもらっていた。
- 学校評議員については、保護者になるほうが良いのでは？子どもと学校のことをよく知っているのです。
- まきび公園に来園する方が減っているのが残念。公園の組合員も高齢化しているので、市で何か指導してもらえないか。
- 被災地に支援物資を送っている。行政・地域住民・教育の場で災害時の助け合いの気持ちなど忘れないようにしないと。その気持ちが地域の発展につながり、絆もできる。
- 竹林音楽祭・商工まつりなどに関わっている。そういう場を通して地域の人がふれあえるよう、盛り上げていきたい。